

## ひび割れ原発の運転を認める 「維持基準」を凍結せよ



(画・高木章次)

7月4日、福島、新潟、浜岡、福井、大阪、兵庫、関東から23名が参加し、午後2時から5時まで、なんと3時間にわたり、経済産業省原子力安全・保安院を追及し、維持基準導入を凍結を

求めました。今回は、65団体162個人(7月5日現在)で共同提出した公開質問書に対し、文書回答を得ました。この交渉で「維持基準」をめぐる矛盾がはっきりとわかりました。

**被爆58周年原水爆禁止世界大会 ひろばに参加しよう**

**広島・長崎・東海村を結んでヒバクを許さないつどい**

「劣化ウラン弾被害の実態調査報告」 東海村臨界事故の健康補償を求めて  
未だ補償されない世界のヒバクシャ 原発労働者の労災認定を勝ち取ろう

**8月5日午後1時半～ ワークピア広島 (案内は最終ページ)**

7月4日の交渉で、原発の維持基準を導入すると大変なことになることが明らかとなりました。

### **ひび割れによる炉心溶融事故の危険は 評価しない**

原発内にひびがあれば、そのひびが拡大するかどうかだけの基準であり、日本全国で起こりうる東海地震や原発直下地震に対して、ひび割れのために炉心溶融事故が起こりやすくなるかは検討しないというものでした。

### **耐震指針は、ひび割れまでで、遵守しない**

そして驚くべきことには、ひび割れが起こるまでは、原発の耐震設計審査指針は遵守するが、一旦ひび割れが起こった原発は、これを遵守しないというのです。維持規格は、法令違反です。

### **耐震評価はダブルスタンダード**

これは、ダブルスタンダードになるという私たちの質問に対して、そうだと今回の交渉で認めたこととなります。

原発の「安全性」を切り縮める非常に危険な動きであることがはっきりしました。

### **コスト削減のための維持基準導入、手抜き検査**

維持基準導入のねらいは、原発の老朽化が進む中で、いちいち修理していたら、原発の発電コストが高くなるからです。

定期検査の昼夜突貫で、検査期間を大幅短縮する動きや、長期連続運転の強行など、ますます危険な方向へと進んでいます。維持基準の導入はそれをさらに助長するでしょう。

### **維持基準導入阻止**

今年10月の施行をめざし、「少々ひび割れが発生しても修理せずに原発運転を続行できる維持基準」など認めることは出来ません。

「維持規格の施行」を凍結させないと、原発の重大事故が起こり、多くの人々がヒバクさせられ生命、健康被害、生活状況の深刻な事態をもたらされかねません。

### **原発、原爆、一切のヒバク反対**

また、政府は、学校教育に原発推進教育を持ち込もうと躍起となっています。

そんな中、「放射線の健康影響」（広島、長崎、チェルノブイリ、東海村から学んだこと）については、「放射線だけがいくら微量でも危険だし、遺伝的な影響がある、という常識は1940年代につくられた『神話』です」と宣伝し、「人体の修復能などを考慮した新しい考え方を導入する理論も重視されています。」とまで言い出しています。

このような宣伝をしなければならぬのは、まさに私たちの周りで放射線が飛び交う時代が到来したことを明らかにしているのではないのでしょうか。

広島、長崎の放射線障害、チェルノブイリ事故の被害は18年経った今も深刻化していること、JCO事故で、2名の労働者が殺され、周辺住民の被害を隠蔽しようとしていることなど、ヒバクの本当の怖さを広く知らせて行かねばならないのではないのでしょうか。

1980年代に福島原発で働いておられた方が、現在、多発性骨髄腫の病魔に冒され、労災認定を訴えておられます。また、JCO事故で健康被害に苦しんでいる住民の方が裁判闘争をしておられます。これらの闘いを支援しましょう。

8月5日には、被爆58周年原水爆禁止世界大会の「ひろば」で「広島・長崎・東海村を結んでヒバクを許さないつどい(Part4)」がもたれます。原爆・原発、一切のヒバクに反対し、想いを新たにして、広島に集まりましょう。

8月5日(火)午後1時半から4時

被爆58周年原水爆禁止世界大会 ひろば

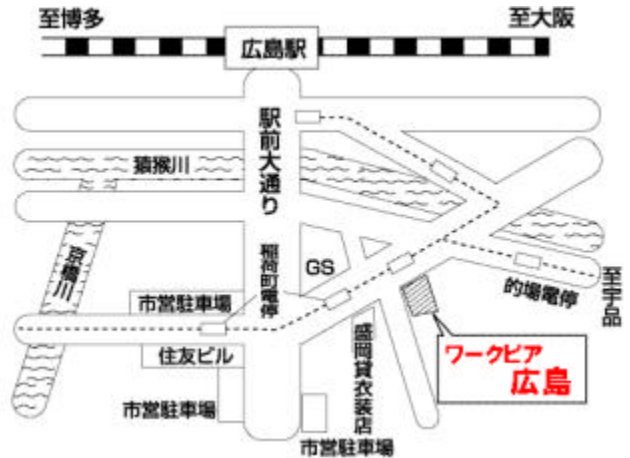
広島・長崎・東海村を結んでヒバクを許さないつどい(Part4)

1. 「劣化ウラン弾被害の実態調査報告」
2. 東海村臨界事故の健康補償を求めて
3. 未だ補償されない世界のヒバクシャ
4. 原発労働者の労災認定を勝ち取ろう

会場：広島市南区 ワークピア広島  
(広島駅下車 右図参照)

主催：被爆58周年原水爆禁止世界大会  
実行委員会

連絡先：ヒバク反対キャンペーン



10月11日(土)午後2時から(1時半開場)

“チェルノブイリの祈り”の著者

チケット前売り1千円

スベトラーナ・アレクシェービッチ講演会

場所 アピオ大阪小ホール (JR環状線「森ノ宮」下車すぐ)

連絡 チェルノブイリ・ヒバクシャ救援関西 たなか0797-74-6091

#### 編集後記

- ・7月4日の政府交渉で、全国からの賛同ありがとうございました。賛同金は、11万円となりました。遠方から参加された方の交通費の半額をお支払いすることが出来ました。今後ともご支援、ご協力をお願いします。
- ・被爆58周年原水爆禁止世界大会が開かれます。世界のヒバクシャは、増え続け、健康被害、生活難に苦しめられています。原発で働いていた労働者や住民などにも、健康被害がもたらされています。日本では、老朽化した原発や廃炉問題、プルトニウム利用政策をいかに進めるかなどなど、矛盾がいっぱい出てきています。

8月5日の広島での「広島・長崎・東海村を結んでヒバクを許さないつどい」に、久しぶりに参加してみようと思っています。出来れば、闘っておられるみなさんとお会いできたら嬉しいです。再会を願いつつ……。

「核と人類とは共存できない」を肝に銘じて、がんばります。

きよ子